

西中水れら



学校の教育目標：自ら学ぶ 共に生きる 努力一輪 4本柱：授業、挨拶、掃除、合唱

「力強さ」を加える2学期に！

校長 細井 孝治

8月29日(火)、いよいよ2学期がスタートしました。

39日間の夏休み期間中、大きな怪我や事故などの報告もなく、生徒たちが笑顔で元気に2学期を迎えられたことに安堵しているところです。

この夏休みも多くの生徒が様々な場で活躍しました。中体連(県大会・東海大会・全国大会)や新人戦での健闘、地域ボランティアやPTA主催の地域清掃活動への積極的な参加、一日市長体験や模擬国連会議への参加、英語スピーチコンテストへの挑戦、コツコツと家庭学習や一研究一作品一実践に取り組んだ頑張りなど、心を込めて取り組んだこの夏の経験は、生徒たちの大きな財産になったことと思います。

さて、2学期の始業式で、生徒たちに次のような話をしました。

～前略

さあ！いよいよ2学期がスタートします。2学期は、自分をさらに鍛え伸ばし、大きく「飛躍」させることができるチャンスです。

1学期、君たちは生徒会スローガン「輝 キラリ」を胸に、当たり前を自分たちの手で見事に創り上げてきました。当たり前のことを当たり前により切ること、あなたの「人間力」を鍛える大切な「心の筋力トレーニング」です。継続して2学期も頑張ってください。

よく努力した1学期、確かな成長を感じる1学期でしたが、2学期は、そんな1学期を、自分をさらに超えてほしいと願っています。

それでは具体的に何をすればよいのでしょうか？この2学期大切にしてほしいことは、当たり前のことが当たり前でできる自分に、「力強さ」を加えていくということです。

「力強さ」とは、周りの仲間がやっているからとか、人に言われたから自分もやるのではなく、夢や目標を実現させるために、本物・本当の「わかる・できる」を味わったり「4本柱」を創造したりしていくために、真に自ら考え判断し行動していくことです。また、多少の辛いことや苦しいことがあっても負けることなく、仲間と力を合わせてねばり強く努力を続けることです。

人間の成長は、大きな水槽に水を1滴ずつ足していくようなものです。1日や1週間では、その進歩は目に見えません。しかし、それを1日も欠かさず半年、1年と続ければ、やがて水槽はいっぱいになります。逆に、毎日水を1滴ずつ抜いていくような怠けをしても目には見えませんが、それを長い間続けていけば、気が付いた時には水槽は空っぽになってしまいます。「水滴1滴の努力」を重ねる。そうした毎日、日常が、君たちの夢や目標の実現に、そして4本柱を中心とした西中学校の誇りづくりにつながっていきます。また、そうした生き方が君たちに大きな自信を与えてくれるはずですよ。

「日常で勝負！」「日常生活で自分を出し切る！」この言葉を胸に、さらに自分を鍛え伸ばす2学期にいきましょう！

2学期は、これまでの生徒たちの頑張りが、今度は質的に大きく伸びる時期です。『日常で勝負！』『日常生活から自分を出し切る！』をキーワードとし、日々の学習や委員会活動、様々な行事の中で、生徒たちの自己肯定感を高めるとともに、「未来を切り拓く力」を、さらに鍛え伸ばしていきます。2学期も学校の教育活動に、皆様のご理解とご協力をよろしくお願ひします。